

香りの困りごとに関するアンケート結果 調査報告書（HP 掲載用）

調査団体 香害を考えるやまがたの会

【アンケートの目的】

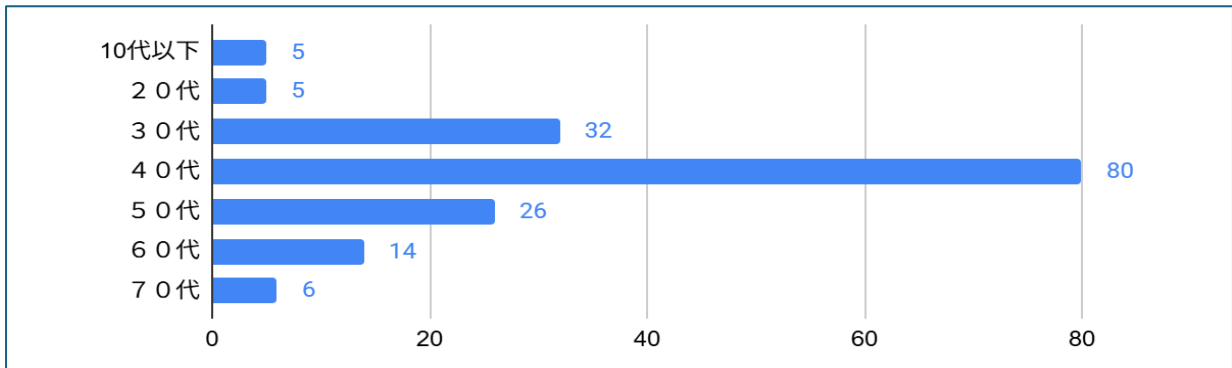
本アンケートは、香料（香り成分＝化学物質）による体調不良や生活上の困難を感じている声を集め、香害に関する現状を可視化し、県や市に届けることで、今後の配慮や施策検討の参考としていただけることを目的に実施しました。

本アンケートは、よせられた意見をまとめたものであり、当会の意見や要望とは異なります。また、香りを好む方の存在を否定するものではありません。

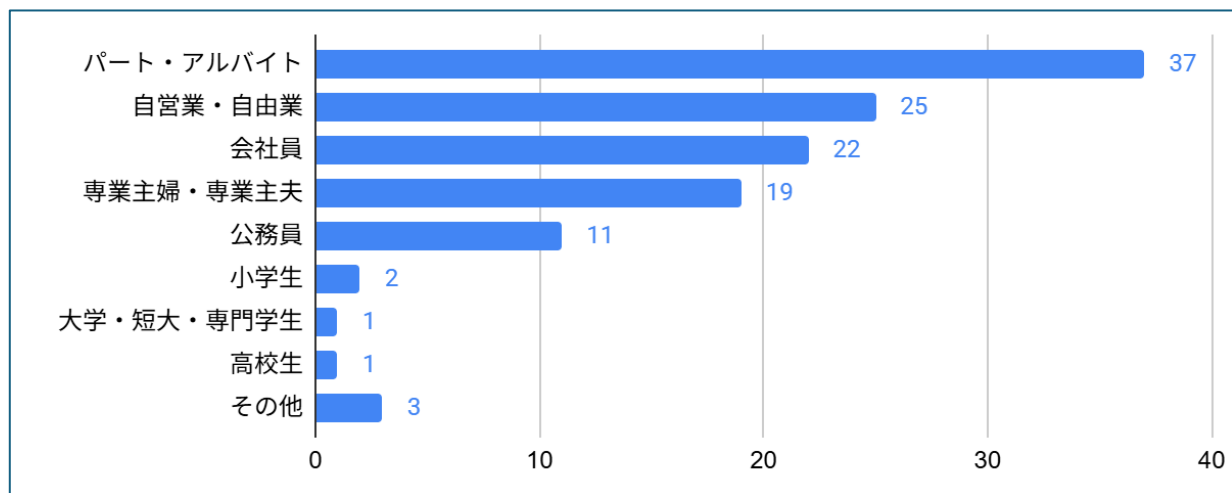
【アンケート概要】

1. 実施期間：2025 年 4 月 27 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
2. 実施方法：Google フォームによるオンラインアンケート、または紙アンケート
3. 対象：山形県内にお住まいの方で、香りによる体調不良や生活上の困難を感じたことのある方、またはその家族等
4. 回答数：125 件（匿名で収集、個人が特定される情報は除外）
5. アンケート結果（事項より記載、ホームページへの掲載を希望しない回答については除外）

【年齢・年代】

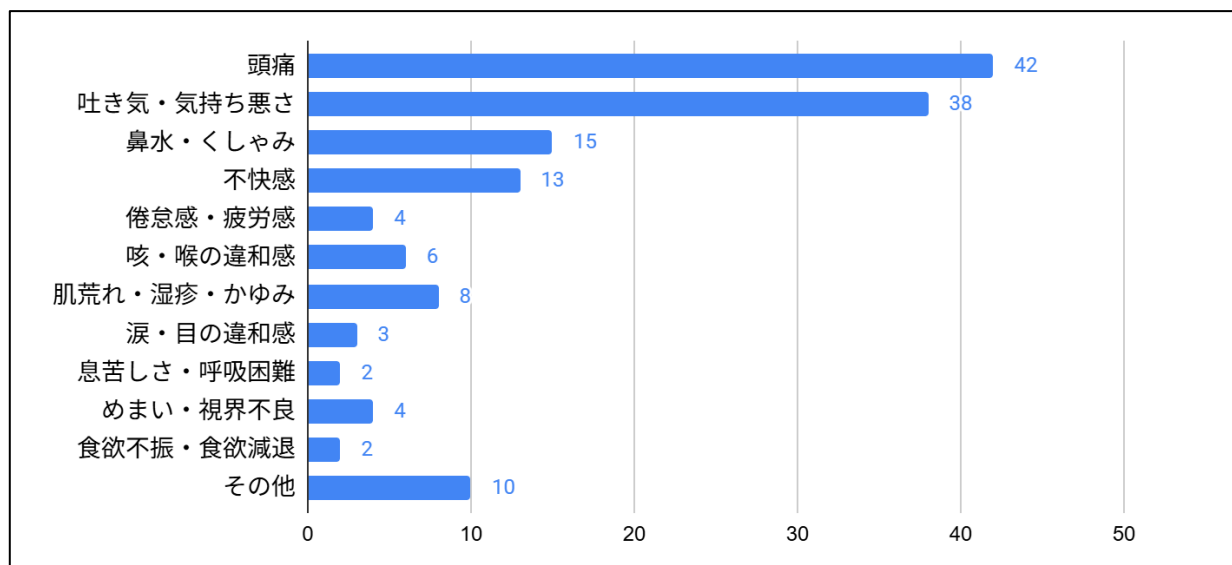


【ご職業】



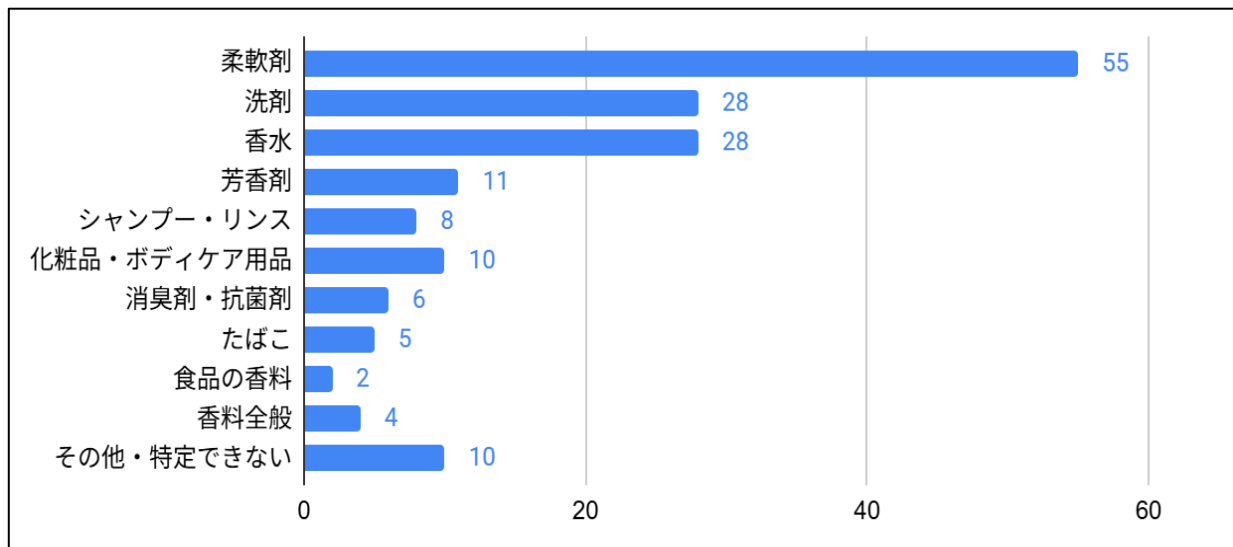
【設問1】 香りや化学物質に反応して現れる症状があれば、ご記入ください。

(回答者の自由記述をもとに分類・集計／複数回答あり)



その他の症状…胃痛、気分の落ち込み、眠気、集中できない、関節痛、アトピー、発熱、口の中に苦みを感じる、舌先のしびれ、イライラ、など。

【設問2】症状が現れる方は、どのような香り、製品、環境に反応することがありますか。



① 症状が現れる主な製品（回答者の自由記述をもとに分類・集計／複数回答あり）

その他…消毒液、甘い香り、古着の匂い、防虫剤、お香、動物臭、など。

② 症状が現れる環境

学校の教室、電車の中、店舗、スーパー、ドラッグストア、トイレ、人が集まる場所、閉ざされた空間、など

【設問3】香りについて、日常生活のなかで、どこで、どのように困っていますか。

1. 対人関係・言えない・我慢などについて（15件の回答より抜粋）

- 学校、職場での香りがきつく、頭痛がおきてしまうが、相手に直接いえません。
- 家族が香りの強いものをつけていると気持ち悪く、頭痛やめまいがするので近づけない。
- 夫の母の部屋は柔軟剤使用の服を部屋干しするので、ドアが開くと辛い。
- 訪問者の柔軟剤の残り香が消えない。
- 妊娠中のつわりで柔軟剤やシャンプーの香りに吐き気が出ました。理解をしてくれる人が周りにいなく、我慢するしかありませんでした。

2. 教育の場や、子どもに関する影響について（15件の回答より抜粋）

- 子供が柔軟剤などの匂いで頭痛がして授業に集中できない。
- 学童保育の室内に香りが充満していて、子どもの健康が心配。
- 給食着やユニフォームなど共有するものの洗濯当番で持って帰って来た時に、強烈な柔軟剤の香りがついていて、具合が悪くなる。
- 幼稚園に行くと、柔軟剤の匂いで溢れていて苦しさを感じることもある。
- 保育園で他家の洗濯物が紛れ込んだ際、当家での乾燥中に香りが強く、体調を崩す。
- 入浴剤の香りで気持ち悪くなり、子どもも目が腫れるなどの症状が出てしまう。

3. 外出先や特定の場所での影響について（37件の回答より抜粋）

飲食店

- 外食時に近くの席に香料の強い人が来ると、逃げ場がなくなるので、食事も楽しくなくなるし、体調も悪くなる。
- 飲食店で外食中。食べ物の香りと柔軟剤の匂いが混ざって、折角の料理が台無し。

買い物時

- ドラッグストアやスーパーなどで買い物をすると匂いつきの商品のにおいが身体につくため、買い物の後は具合が悪くなるので困っている。
- ディスカウント&アウトレットショップに行ったときに、店舗内に強い人工香料のにおいが充満していて、体調が悪くなった。

病院や公共施設・公共機関

- 病院で柔軟剤の匂いがきつい方に会うと、ただでさえ具合が悪いときなので、気持ち悪くなる時がある。
- 電車やバスなど一定時間一緒に過ごさなくてはならない時困る。
- 公民館などを利用するとき、トイレの芳香剤のにおいがつらい。

狭い空間

- 空間の狭い部屋。勉強、映画、食事の場面等で香水の匂いが気になる。
- 更衣室内での制汗剤系の香りが充満していたりするとき、逃げ場がない。

その他の外出時

- 柔軟剤で症状が出るので、人が集まる場所に行く時に困る。
- コインランドリー近所周辺が柔軟剤の香りで充満し、散歩の際に気持ち悪くなる。
- 習い事の教室で使用する消臭スプレーでアレルギーになってしまった。
- 大型スーパーの手洗いのハンドウォッシュで鼻水がでたり、ムカムカ気持ち悪くなる。

4. ものに移る香り（移香）の影響について（9件の回答より抜粋）

食品への香り移り

- 実家や友人からもらう食べ物に、柔軟剤や洗剤の臭いが付いていて食べられない。
- いただいた新米を炊いてみたら、強い洗剤臭と洗剤味がして家族みな吐き出した。

もの・衣類・空間への香り移り

- 外出先の椅子に座ると衣服に臭いがつく。
- 宅配便の方が一瞬玄関先に立ち寄るだけで、香りが長い時間家に残ってしまう。
- 子どもが、友達の家遊びにいくと、香り移って、つけて帰ってくる。
- お下がりの服の匂いが苦手。無料のお下がりでも香りで利用できない。

5. 仕事への影響について（17件の回答より抜粋）

- 介護の仕事をしていて、柔軟剤を使用している利用者や接客と接するのがつらい。
- 保育園・職場内で、香りを避けられず我慢をしている。
- 飲食業をしていて、香水などが強いお客さんが来ると店内が香水臭くなり困る。
- 仕事でお客様と関わる時に色々な方の香りなどを感じると、頭痛が起きたり頭痛がひどくなると吐き気を感じる。
- 職場のエアコン掃除で、埃にまで柔軟剤の匂いがついていて気分が悪くなった。

6. 無症状・困っていない（4件の回答より抜粋）

- 自分が不快にならないように、メーカーなどにも気をつけて選ぶようにしているので、特に困ってはいない。

7. その他（18件の回答より抜粋）

- 車検に出して帰ってきた車の車内か消臭剤の石鹸の香りが充満していてつらかった。
- いたるところで人工的な香料を使用している市販の製品が手頃に手に入るため、使用している人が多く世の中に溢れている。
- 気づかないうちに他の方を不快な気分にしていなければいいなと思いました。
- 無香料と、そうでない洗剤の価格帯にそんなに開きがない時は無香料を選ぶようにしていますが、価格帯に大きく差があると迷いが出ることもある。

【設問 4.】 香りについて、社会や行政へ求めたいことなど、ご自由にご記入ください。

い。

1. 香害についての周知・啓発の強化（51件の回答より抜粋・要約）

情報発信

- 香害を知らない人がかなり多い印象。広く知らせるというキャンペーンが必要。
- 香害の認知度が上がるように知らせることが第一歩と思うので、知らせる対策を。
- 例えば柔軟剤は本当に必要なのか 広告に惑わされていないかなど 正しい情報を沢山の方が知れるようになる事を願う。
- ポスター掲示などで訴えてほしい。飲食店等でも掲示してもらえたらいいと思う。
- 市報に載せる、LINE 登録者にお知らせを送るなどしてほしい。

知る機会や対話の場の創出

- 香害について一緒に考える機会を作ってほしい。
- 人工的な香りが心身に与える影響などを知る機会を作ってほしい。
- 当事者の声を聞く機会を持って、何ができるのかを寄り添い考えることが、誰も取りこぼさないより良い社会のためになる。
- 症状などが無い人も悩みを直接きく機会が欲しい。

他者・周囲への配慮

- 周囲への影響も考慮しての使用の有無や控えめな使用を啓蒙するようお願いしたい。
- 自分の匂いが他人に迷惑をかけていることを自覚できるような周知をしてほしい。
- 外出もままならない方もいるのを知っているのでそうした方への配慮をしていただきたい。
- 飲食店など、個室や人が密集する施設などでの思いやりを訴えてほしい。

可視化の必要性

- 知らないことは無いことになってしまわないように、香りや化学物質に過敏な方が存在することを行政は可視化させることが必要。

事例・提案の紹介

- アメリカ CDC やヨーロッパの事例を周知してほしい。
- どんな時困り感がでてくるのか、事例をわかるように周知してもらいたい。
- 行政としてこういう事が出来ますよという提案等があれば紹介してほしい。

声を上げること

- 社会に埋もれてしまう害はたくさんある。それを周知すること、分かってもらうことは、声を上げない限り届かない。小さな一歩でも声を上げることの大切さを感じる。

2. 学校・保育・教育現場での対応（12件の回答より抜粋）

- 共用の給食着を個人のものにしてもらいたい。
- において通学できない子どもが行ける空気のきれいな教室を作ってほしい。
- 子どもへの影響を学校でもお便りでお知らせして欲しい。
- 幼稚園、小学校、中学校など学校の方より香害についての知識の周知とマナーとして強い柔軟剤などの使用を控えるように保護者向けに入学時より伝えて欲しい。
- 教員や保健師に向けて情報共有と研修を実施してほしい。
- 子どもの10人に1人は香りによる体調不良を経験している社会課題であることから、子どもの健康課題解決の1つとして「小中学校での無香料推奨」を実現してほしい。

3. 公共施設・公共空間での配慮、環境整備（10件の回答より抜粋）

- 公共施設（学校やコミセン等）、医療機関のトイレ・手洗い場は、芳香剤を使用しないで、無香料石鹸使用にしてもらいたい。
- 病院は患者さんの体調によって、香りが療養の妨げになることもあり控えてほしい。
- 化学洗剤の身体への影響を住民の方々へ知ってもらえるように、公共施設等での情報発信を検討してもらいたい。
- 使用を控える人やフレグランスフリーの場所が増えてほしい。

4. 勉強会・講習会の実施（3件の回答より抜粋・要約）

- 専門家による講習会や勉強会を実施してほしい。
- 公務員の方は香害の知識を習得してほしい。

5. 社会的マナー・思いやりについて（4件の回答より抜粋）

- 学校の授業や会社でも香りについてマナーとして学べる場がほしい。
- 合成の香りがあるのをおしゃれやエチケットと勘違いしない社会になってほしい。

6. 医療体制への対応（2件の回答より抜粋）

- 化学物質過敏症対応の医療体制を整えてほしい。

7. 企業・製品・広告への規制や改善（33件の回答より抜粋）

広告について

- 女優さんを起用して柔軟剤のCMを流すのは辞めてほしい。CMを流すなら健康を害している可能性があることも伝えてもらいたい。
- 柔軟剤の香り＝心地よく、おしゃれ、一辺倒の広告表現には違和感や拒否感があります。

製品について

- 香りを否定したくはないので、安全性のある商品が増えればいいと思う。
- 害になる商品を開発しないで欲しい。害になるとは知らずに、使っている人も多いと思う。

規制・禁止

- リスクを訴えても、結局大多数の消費者は、ドラッグストアで手頃に購入できるものを選ぶと思うので、メーカーに努力をしてほしい。国も規制をかけてほしい。
- 環境や人体に悪影響があるものを、販売してほしくない。
- 国による企業への指導に加え、過剰な香りや化学物質使用に対する規制等を求める働きかけ

8. 無香の選択肢について（4件の回答より抜粋）

- 「香り付きが当たり前」ではなく、無香の製品を選べる社会にしてほしい。
- いい香りが良しとされる文化は生活していて窮屈に感じる。無臭や多少の汗のにおいや生活臭に寛容でありたい。

9. 自然・天然の香りについて（4件の回答より抜粋）

- 化学物質を含む人工的香料は、人体に害を与えるのはもちろん、環境汚染にもなるので、自然由来の香りを使うよう呼びかけてほしい。
- 香りの好きな人もいるのは理解できるが、人工的な香りは辛い。香りは身体がいい反応をしてくれる天然の香りを選びたい。

10. 香害についての誤解・誤認についての意見（3件の回答より抜粋）

- 「化学物質過敏症」という名称の認知は進んできた一方で、「嗜好や気持ちの問題」と誤解され、理解が十分に進んでいないと感じている。
- 香りについては、自然な香りなら安全だと信頼しすぎずに、使いすぎないようにすることが必要。くりかえしの香りの刺激による脳への感作反応などでアロマセラピストが化学物質過敏症になるケースもあるらしいので、人工だからだめ、自然だからいいという単純な区分け

をしてほしくない。

11. 自然環境や動物への影響についての意見（4件の回答より抜粋）

- 熊など鼻が利く動物が柔軟剤の香りに誘われて山から降りてくると言うような話がある。人のためにも、熊のためにも良くなく、あらゆる製品で人工的な香りが過剰だと思う。
- 強い香りの洗剤などがペットに悪影響があることを知ってほしい。
- 環境のためにも香り付きである必要はない。

12. その他（11件の回答より抜粋）

- 社会の一員として、できるだけ身体に負担のないものを使いたい。
- 香害は公害でもあると思う。
- 家の外ではなく、家族間の問題はどうすれば良いか教えて欲しい。
- 受動喫煙と同じです。『受動香害』を無くしてほしい。

【報告のまとめ】

本アンケートの結果、香りの感じ方や影響には個人差があるものの、実際に香りによって困難を感じている人や、要望を求めている方が一定数いることが確認できました。

香害に対する社会的な配慮と対策を求める声は、全国的に高まりをみせており、山形においても例外ではありません。

本資料が、誰もが暮らしやすい社会・環境づくりに向けた配慮や対策へとつながるよう、参考の一助となることを願い、報告とします。